

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

平成 26 年度の事業報告書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 つどい

1 事業成果

平成 26 年度は、地域住民や自治会、地域活動グループと協働した事業の展開を行った。そこで住民の主体性や地域における支え合いの活動が行えるような企画事業の組み立て、中間的支援としての「場のコーディネート」を行った。その結果、昨年度から引き続く事業の「お楽しみ市」や「いどばばた」の住民の集まりも、地域に定着を見せており地域住民より活動提案や当日運営となっている。地域リソースや資源の発掘、地域支え合いの関係性など住民の自立支援の成果はみられる。

地域間交流活動では、居住地範囲から市町村単位、他国と様々な交流を介した事業を行政や多様な関係機関と共に展開することができた。大槌町コミュニティ再生会議の事務局等を担うことで、地域における資源や情報を活用し様々な地域の主体がまちづくりに参画していく仕組みづくりを行うことが出来た。


2 事業の実施に関する事項



(1) 特定非営利活動に係る事業

◆事業名 《AAAプロジェクト 事業》	① 地域資源の再発見と人材育成・開発の場の提供事業 《AAAプロジェクト事業》
事業内容	震災後の地域資源見直し、地域福祉の向上を図る企画事業として、地域住民の交流イベント企画運営や、地区行事のサポートを実施。地域住民の支えあい構想の実施とする。地域住民の集まる場づくりを通して自立支援の様々な活動を展開する。
実施日時	平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日まで
実施場所	大槌町一円
受益対象者の範囲及び人数	2700 人 大槌川流域の近隣住民を中心とした大槌町全世帯
事業費の金額(千円)	3,453 千


①地域資源の再発見と人材育成・開発の場の提供事業の詳細


以下 ①～⑧


具体的な事業内容 ①-1	足湯でほっこりしませんか。地域の縁側企画 4回開催
実施日時	平成26年9月14日～17日
実施場所	福幸きらり商店街 第6仮設集会所前
従事者の人数	12名
受益対象者の範囲及び人数	80名
	<p>大槌の湧水の活用として沸かし湯と、志戸平温泉の湯を運び、屋外で足湯を実施する。対話の促進や仮設住宅の狭い環境での対応している住民の声等現状ニーズを拾う機会となる。屋外の足湯で、心身のストレス緩和にもつながった（利用者アンケートより）。</p> <p>足湯に実施に当たり、志戸平温泉・花巻観光協会、FIDRのご協力も受けながらの実施となった。</p>

具体的な事業内容 ①-2 《11のつどい》	11のつどい →いどばたの開催 (12回開催)
実施日時	平成26年4月14日～27年3月31日
実施場所	大槌町内：福幸きらり商店街 仮設集会所 安渡公民館 三浦石材店 ショッピングセンターマスト
従事者の人数	18名
受益対象者の範囲及び人数	76名
事業費（千円） 一部	12 (11のつどい)
 	<p>大槌の文化や暮らしの知恵を語り学び合う機会を「いどばた」と呼び集まりを持つ。まちづくりに住民の知恵や経験を活かすよう言葉をまとめていく。生活文化を残すことで、町の資源の再価値化を図る。写真・文章・映像での記録を行う。町の賑わい・震災を伝える2つの大きなテーマとして、集まり話す、実践や体験を通じて知恵や工夫の伝達などの機会も設けた。震災のため、居住地域の変化も加わり年代を超えて交わる機会が少なくなっている。本事業が世代間交流や暮らしの知恵を見直すことにつながった。</p> <p>4月11日：津波の伝え方安渡公民館 5月15日：いどばた会議のテーマ きらり商店街 6月11日：昔あそびと智恵（陣屋あそび）同上</p>


	<p>7月4日：町歩き 旧地名を追って歩く 城山 7月8日：旧町名を語る きらり商店街 8月5日：竹で遊ぶ 水鉄砲づくり 安渡公民館 9月14日：足湯で学ぶ湧水 きらり商店街 10月20日：賑わいの町 鮭川 安渡仮設集会所 11月18日：伝えたい行事風習 きらり商店街 2月4日：震災を伝える 三浦石材店 2月27日：鮭川と鮭漁 エールサポートセンター 2月28日：震災と戦争を伝える マスト</p>
---	--



具体的な事業内容 ①-3	自治会企画イベント補助
実施日時	H26年12月3日、H27年1月9日、14日
実施場所	大ヶ口多目的集会所 中央公民館
従事者の人数	6名
受益対象者の範囲及び人数	52名
	震災後に再開する自治会企画事業の運営へのサポートを行う。新年会をきっかけに新たな地域住民との交流促進や自治会の再開を地域住民の協力を得ながら進めていくことへのアイデアを提示する。町主催の地域コミュニティ形成会議への参加も含め、地域支え合いの実現に向けて活動提示をしていく。


具体的な事業内容 ①-4	町内地域間交流イベント
実施日時	H26年4月18日、6月13・14日、8月29日、12月27日
実施場所	大槌町内 仮設住宅集会所 喫茶ムーミン
従事者の人数	10名 ボランティア 20名
受益対象者の範囲及び人数	100名
	●ヨガ教室：4日間（平均15名参加） 仮設住宅集会所、サポートセンター、ベルガーディアにて開催する。仮設住宅の高齢者、仕事をしている世代へも参加しやすい時間や場所を選定する。長期化する被災地の暮らしの心身のケアを行う。

	<p>●もちつき大会(季節行事の開催) 12月27日 地域行事を行い、離れている地域課の住民の集まる機会を作り出す。参加者は、世代や地域を超えての共同作業や季節感の大切さなど再確認する。</p>
---	---


<p>具体的な事業内容 ①-5</p>	<p>地域サロン開催</p>
<p>実施日時</p>	<p>平成26年4月14日～27年3月31日</p>
<p>実施場所</p>	<p>福幸きらり商店街 大槌小学校図書室</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>10名</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>1000名 図書館利用の小学生 300名</p>
	<p>●地域サロンの開催：テーブルとイスの設置で休憩所や簡単な打ち合わせスペースを提供。地域イベントのチラシやパンフレットを設置し情報の提供を行う。 利用者は、年間1000人のサロンへ足を運び、1日平均4～5人、利用内容は、待ち合わせ、情報収集、サークル活動の打ち合わせなどである。</p>
	<p>●まちづくり文庫設置：様々な手法のまちづくり分野の本を貸し出しする。大槌の郷土資料も合わせて配置する。まちづくりや大槌の歴史に興味を持つ住民のほか、企業コンサルの方も借りに来る。3～4冊/月平均の貸出。シャンティ国際ボランティアの協力も加わり在庫数は、260冊。</p>
	<p>●スマイル図書館整備事業：大槌小学校図書館 1 昨年前に作ったスマイル図書館の経過フォローを行う。図書ボランティアを中心として行う活動をサポートし、季節ごとの飾りつけや図書のメンテナンスを行う。</p>

具体的な事業内容 ①-6	町外移住避難者地域間交流サポート
実施日時	平成26年5月22日、10月15日
実施場所	紫波町（日詰公民館・オガール他）盛岡市
従事者の人数	5名
受益対象者の範囲及び人数	116名
	<p>震災後大槌町外に居住、移住している方々と、大槌町の情報や人々の交流を新たな地域でも展開していく。地域の公民館との協力のもと、新たな地域ぐるみで大槌や沿岸部からの住民の受け入れが住民レベルで行われることにつながった。</p> <p>震災当時、多くの支援や一時避難場所となった内陸部への思いの整理や感謝の気持ちが伝えられる機会となった。参加者からは今後の継続を望む声が聴かれた。</p>


◆事業名 《お楽しみ市》	① 地域資源の再発見と人材育成・開発の場の提供事業 《お楽しみ市》～何あんだべえ～（7回開催） ：地域間交流促進、ソーシャルビジネス実践者の育成
実施日時	5月18日、6月22日、8月3日、9月14日、10月5日、11月23日
実施場所	福幸きらり商店街
従事者の人数	出店者 140人（20人/回）スタッフ 35人（5人/回）
受益対象者の範囲及び人数	1400人（180～200人/回）
事業費の金額(千円)	66千
 	<p>参加者は、主に町内の住民となる青空市の開催が比較的定着してきた。新たに参加した、子ども服やアクセサリの店舗、野菜や花の出店なども見られる。</p> <p>町外の支援団体も時折参加し、同じ条件で出店する。今まで以上に店舗のバリエーションや外部オン視点もくみこめる機会になった。</p> <p>地域イベントと同時開催するなど、より地域が足を運び交流、対話を促進するきっかけを作りだしている。</p> <p>例) 商店街の夏まつり・アートイベント同時開催</p>


	<p>青空市では、地域の資源のためコーラスや音楽、踊りなど地域の人々の発表の場として賑わいを追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたち参加：駄菓子屋・民謡保存会披露・絵本の読み聞かせグループ ・地域の活動グループ：フラダンス・ハーモニカ
---	--

② 町民活動の拠点と地域間交流サポート事業


<p>◆具体的な事業内容 ②-1 《赤い羽根支えあい事業》</p>	<p>町民活動の拠点と地域間交流サポート事業 赤い羽根共同募金会 物づくり交流</p>
<p>実施日時</p>	<p>平成 26 年</p>
<p>実施場所</p>	<p>大槌町内 雫石町 田野畑村</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>5 人</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>40 人</p>
<p>事業費の金額(千円)</p>	<p>200 千</p>
	<p>2 か所への訪問。事前に興味関心を持つ手芸のサークルでの説明会と講座内容を組み立てた (10 名)。</p> <p>11 月 26 日着物リメイク講師小赤沢直子氏の工房、岩手手づくり村訪問 (18 名)。12 月 3 日裂き織工房ハックの家訪問 (12 名)。はた折り機の体験と草木染を行う。作品の完成度や販売形態など普段気にしていない点なども見学できた。今後町内地区を超えて物づくり講習会やサークルの継続展開をサポートする。</p>

<p>◆具体的な事業内容 ②-2 《調査事業》</p>	<p>町民活動の拠点と地域間交流サポート事業 大槌町における居場所の調査</p>
<p>実施日時</p>	<p>H26 年 11 月~H27 年 3 月</p>
<p>実施場所</p>	<p>大槌町内</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>4 人</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>300 人</p>
<p>事業費の金額(千円)</p>	<p>23 千</p>

	<p>震災後のまちづくり過程において住民主体の集まる場所、居場所の機能をヒアリング調査し、今後の集会所や自治会運営へ活かす提案を目指す。仮設住宅尾集会所の機能としては、「受容されている」「居心地の良い」「安心」コメントとして挙げられる。居場所が新たな地域における人々の関係性が見られる。集会所を管理している支援員事務所へのフィードバックを行った。</p>
---	---


<p>◆具体的な事業内容 ②-3 《ACHR事業》</p>	<p>町民活動の拠点と地域間交流サポート事業 ACHR スリランカ視察訪問</p>
<p>実施日時</p>	<p>H26年8月28~29日</p>
<p>実施場所</p>	<p>スリランカ</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>1人</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>人</p>
<p>事業費の金額(千円)</p>	<p>(一)</p>
	<p>H25年度事業「アジアの女性交流」に参加したメンバーのフォローアップ。女性グループは、大槌・釜石の女性たちと交流したことで、さらに仲間同士の結束や生活の保障などを意識するようになったと話す。</p> <p>25周年記念式典は、全国より女性組合のメンバーが集まる。貯蓄活動を通じて自分たちの暮らしや地域をよいものにしていこうと支え合ってきた成果が見られた。</p>

③ 社会教育の推進を図る活動事業

<p>◆具体的な事業内容③-1</p>	<p>社会教育の推進を図る活動事業 ひよっこりひょうたん島プロジェクト実行委員会事務局</p>
<p>実施日時</p>	<p>H26年4月~3月</p>
<p>実施場所</p>	<p>大槌町内</p>
<p>従事者の人数</p>	<p>2人</p>
<p>受益対象者の範囲及び人数</p>	<p>20人 発行部数 6000冊</p>
<p>事業費の金額(千円)</p>	<p>200千</p>
	<p>大槌の文化的価値を最大化し、復興段階における地域活性化や産業振興とその担い手の育成を目的とした事業</p> <p>平成26年度ひょうたん塾通信「tatsutto」は、町内で動き出している若者を中心とした活動を取り上げる。地地域資源としての人材や町の文化歴史・自然・東日本大震災に関</p>

	連するものも含め、「大槌の大切な資源」として捉え直し、まちづくりの可能性を広げていく事を発信する。
--	---


◆具体的な事業内容 ③-2 《新しい東北事業》	社会教育の推進を図る活動事業 大槌町コミュニティ再生会議事務局運営 コミュニティカフェ講座
実施日時	H26年7月～H27年3月
実施場所	大槌町内
従事者の人数	4人
受益対象者の範囲及び人数	500人
事業費の金額(千円)	2270千
 	復興庁新しい東北事業 大槌まちゼミ:若者による地域ビジネス支援モデル構築事業の事務局運営を行う。 高校生を含む地元の若者たちが自己の企画を実践するための仕掛となるよう本事業の組み立てを行う。本事業では①地域の問題意識や課題を整理し、②自己の持つ関心度、知識や技術やネットワーク等の現状を分析する。③今後の展望や将来像に向けての必要な知識、技術などを自ら体験、学ぶ機会を設定する。そこには、専門家や地域の実践者など適時助言等を行うような伴奏型の体制がある。④その学びや体験を実践できる場をサポート。


◆具体的な事業内容 ③-3	お互い様募金活動
実施日時	H26年5月～11月
実施場所	大槌町内
従事者の人数	(一)
受益対象者の範囲及び人数	(一)
事業費の金額(千円)	66千
	お楽しみ市の開催に合わせて、直近の被災地や人道支援への募金活動を行う。 バルカン半島洪水支援、イラク人道支援、広島土砂災害支援、(日本赤十字社)、エボラ出血熱緊急救援(ユニセフ)

団体運営


◆具体的な事業内容 《本体運営事業》	事業全体の調整、情報の収集と発信、事務的手続きを行う
実施日時	H26年4月～H27年3月
実施場所	大槌町内
従事者の人数	3人
受益対象者の範囲及び人数	事業全体
事業費の金額(千円)	274千

運営協議体としての活動

◆具体的な事業内容	第1回町民運動会 実行委員会～当日運営
実施日時	H26年11月2日
実施場所	大槌小中学校
従事者の人数	1人
受益対象者の範囲及び人数	300人
事業費の金額(千円)	(一)
	町内の地区対抗運動会開催し、地域間の交流を図る。また全国の支援でつながりを持つ団体や個人の参加も呼びかけを行う。他団体や地域の方との協力関係を構築する。

◆具体的な事業内容	大槌町福祉祭り
実施日時	H26年12月13日
実施場所	大槌中央公民館
従事者の人数	1人
受益対象者の範囲及び人数	200人
事業費の金額(千円)	(一)
	大槌町社会福祉協議会主催。地域のボランティア団体や福祉施設の活動を紹介する。地域における周知活動につながる。

◆講演会等の登壇

会議・検討委員会参加	
①MLA 検討委員会	主催：大槌町役場 6月29日、7月13日 新しい図書館のあり方について議論を進める。
②愛アイネット協定式 高齢者見守りネットワーク	 <p>地域の見守り体制の協力</p>
③総合リハビリテーション 学会	主催：総合リハビリテーション学会 10月11日 パネルスピーカー 活動紹介・地域福祉の現場より
④ボランティア入門講座	主催：大槌町社会福祉協議会 11月13日 活動紹介 地域におけるボランティア活動について話す。
⑤世界防災会議 パブリックフォーラム	『復興×国際×地域おこし』 3月15日 JICA 東北セッション 展示・パネラー活動紹介を行う。
⑥平成26年度復興支援の担 い手の基礎的能力強化事業	主催：岩手NPOフォーラム21 3月20日 活動紹介 「協働で取り組む安心・安全なまちづくり」

協力・後援	
①地域支え合い企業支援セ ミナー	主催：CLC 全国コミュニティライフサポートセンター 地域支え合いの活動を事業化する講座開催をサポート
②いがす大賞	主催：CLC 2月15日 住民が主体の地域活動を推薦し、被災地3県で集まりをもち発表ののち表彰する。
③まき祭り	主催：NPO 法人吉里吉里国 薪や自然エネルギー学びと体験の機会
④映画祭	主催：三陸未来シネマ 大槌町中央公民館 地域に根づく映画上映会を行う。

(2) その他の事業

収益事業は、今年度は行っていない。

以上